

## 平成 23 年度県補助及び委託事業について（案）

## ○学校支援地域本部事業（補助事業）

- 1 目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域と家庭が連携をとり、地域住民がもっている豊富な知識や技術を活用し、教員を支援することで、教員が子ども一人一人と向き合う時間の拡充を図る。平成 20 年度より事業に取り組み始め、西枇杷島中学校区において支援地域本部を設置し 3 年経過。委託事業は、平成 22 年度で終了し、今年度は補助事業として実施する。既存の西枇杷島地区から清須市内の清洲地区及び春日地区にも事業を広げる。
- 2 対象学校 西枇杷島地区（西枇杷島中学校・西枇杷島小学校・古城小学校）  
清洲地区（清洲東小学校 新規）  
春日地区（春日小学校 新規）
- 3 内容 (1)事業実施の普及啓発及び広報活動  
(2)学校支援ボランティア実践  
学習支援活動、環境整備活動、登下校安全指導、  
学校行事活動、学校図書室の整備及び読み聞かせ  
(3)学校支援ボランティアの育成  
読書ボランティア養成講座開催

## ○命をはぐくむ家庭教育支援モデル事業（委託事業）

- 1 目的 子育てネットワーカーが行政と協働して地域における家庭教育支援を行う。
- 2 連携先 チームMOMO（桃栄小学校区を拠点に活動する子育てネットワーカー 5 名の家庭教育支援チーム）
- 3 活動内容 地域における家庭教育支援  
(1)子育て講座開催（桃栄小学校 P T A 役員、新入学児の親）  
(2)子育て支援アプローチ〔MOMO の部屋〕（桃栄小学校）  
(3)子育てふれあい交流会  
（桃栄小学校・レクリエーション協会・おやじの会）  
(4)中学生と赤ちゃんの交流会（新川中学校・健康福祉課）  
(5)中学生と保育園児交流会（清洲中学校・子育て支援課）

# 平成 23 年度 学校支援地域本部事業について

## 1 はじめに

平成 20 年度より西枇杷島中学校区において、『学校支援ボランティア事業』を進めてきたが、今年度より、より幅広く地域をまきこんだ活動をおこなっていくために、清須市全体での取り組みを目指すこととした。今年度は、学校とボランティアのパイプ役となる地域コーディネーターの養成に努め、各関係機関と協働し、ボランティアネットワークづくりを進めていきたい。

## 2 現在の西枇杷島中学校区における活動状況

- ・ 3 月の春休み期間を利用して、西枇杷島小低学年図書室のリニューアルをおこなった。
- ・ 西枇杷島小学校において、「読みきかせボランティア」の募集をおこない、47 名が登録（うち 17 名が地域の方々）。  
現在、月に 2 回の定期的な読みきかせを開始している。
- ・ 昨年度養成した「読書ボランティア」15 名によって、月 1 回の勉強会。西枇杷島児童館での月 1 回のおはなし会の開催。  
西枇杷島小・古城小での活動への積極的参加が、おこなわれている。
- ・ 4 月 30 日（土）西枇杷島小学校において、「さつまいも畑」の造成をおこなった。
- ・ 6 月 15 日（水）西枇杷島中学校において、「あじさい園」の整備をおこなった。
- ・ 6 月 17 日（金）古城小学校において、新しい本の整備をおこなった。
- ・ 6 月 17 日（金）第 1 幼稚園において、第 1 回なかよし会を開催した。
- ・ 西枇杷島小・古城小においての、登下校時のみまもりや、あいさつ運動。  
古城小における週 1 回の読みきかせ活動などは、継続中である。

## 3 今年度の方針

### ①指定地域の拡大

- ・ 西枇杷島中学校区（西枇杷島中・西枇杷島小・古城小）において、引き続き、おこなう。
- ・ 清洲東小学校を拠点とし、地域コーディネーター設置に向けての組織作りをする。
- ・ 春日小学校を拠点とし、地域コーディネーター設置に向けての組織作りをする。
- ・ 西枇杷島中学校区のさらなる発展のために、第 1 幼稚園との連携をはかる。

### ②読書ボランティアの充実

- PTA との協働により、各学校の図書ボランティアの充実を図る。
- ・ 図書室の本の修理や整理・読み聞かせ・図書室ボランティア養成の研修をおこなう。

### ③各学校の特色をいかしたボランティアの導入

コーディネーターが、各学校の特色と要望を知り、ニーズのあった人材情報を収集する。

## 平成 23 年度 「読書ボランティア養成講座」開催について

### 1. 目的とプログラム

学校支援ボランティアを募集するにあたり、実際に学校で活動できる地域人材の育成をねらいとする。今回は、読書環境の整備に重点をおき、「読書ボランティア養成講座」を開催し、市内小・中学校を支援する図書室ボランティアとして、活動するために必要な基礎的な知識・技術等の実習をまじえて学習できるようなプログラムを提供する。

#### 読書ボランティア養成コースプログラム

	学習主題	学習内容
(1)	「学校支援ボランティアになるために」 「絵本・読み聞かせ講座」	①レクチャー 「読書ボランティアの活動について」 ②「読み聞かせについて」
(2)	「学校図書室を知ろう… 図書整理の基本」	①10 進法分類 ②簡単な図書の補修等実習
(3)	「私にできるプログラムを考えよう」	①実際にやってみよう ②グループワーク「私にできること」

### 2. 日程等

- (1) 9月13日(火) 13:30~15:30 清洲市民センター
- (2) 9月27日(火) 13:30~15:30 清洲市民センター  
清洲東小学校の図書館見学後、補修実習
- (3) 10月4日(火) 13:30~15:30 清洲市民センター

募集 8月号広報にて

申込 先着順

市内にお住まいで、「読書ボランティア」に興味のある方ならどなたでも申込み可

定員 20名

講師 武島 敦子(学校支援ボランティア・地域コーディネーター)

羽立 泉 (図書司書)

主催 清須市学校支援地域本部

命をはぐくむ推進事業

# 「地域で子育て協働事業」

## 家庭教育に対する不安や悩み

- ほめ方・叱り方は？
- 健康や発達、うちの子は大丈夫？
- しつけやマナーはどうするの？

## 子どもは社会の宝

地域においては、家庭における子育てや教育を応援し、支えていくことが求められています。

地域の子どもは地域で見守り、育てよう！

## 地域において子育てネットワーク等の活動

### (1) 「命をはぐくむ」家庭教育支援モデル事業

委託費 300千円×6団体

委託先 県内6実行委員会（地域の子育てグループ、公民館・市町村の子育て支援関係者等からなる実行委員会）

内容 子育てネットワーク等が行政（生涯学習、子育て支援、公民館等）と協働して、地域における家庭教育支援をする取組（子育て講座、支援アプローチ、交流会、情報提供、中学生と赤ちゃんの交流会など）を企画・実施する。

### (2) 「命をはぐくむ」家庭教育支援フォーラム（ウインクあいち 11月17日木曜 13:00～）

目的 地域で子育て活性化事業の普及・啓発のため、事例発表会、研究協議会等を開催し、地域で子育てを支援する取組を広く県民に紹介する。

参加者 子育てネットワーク等市町村子育て支援関係者・市町村行政職員・一般県民

内容 事例発表・研究協議 講演会 等

## 事業の趣旨・目的

家庭教育は、すべての教育の原点である。近年、親の意識やライフスタイルの多様化などから、その教育力も低下する傾向にあると言われている。家庭教育は個々の家庭だけの問題ではなく、社会全体で支援することが重要である。

愛知県では、平成7～22年度までに、1,317名の子育てネットワークを養成してきた。また、他の子育て支援者も地域において活躍している。これらの活動をさらに活発にしていくためには、地域において「親の学び」を支援する取り組み等を計画立案し、提供することが大切である。

そこで、子育てネットワーク等が行政と協働して、地域における家庭教育支援を行う「家庭教育支援モデル事業」を実施するとともに、子育てネットワーク等子育て支援関係者と行政関係者が一堂に会した「家庭教育支援フォーラム」を実施し、広く県内に紹介する。

## 子育てネットワーク

子育てネットワークとは、愛知県が養成し、乳幼児を持つ親が集まった「子育てグループ」のリーダーとして活動を支援したり、子育てについて気軽に相談したりすることができる人のことです。

子育てネットワーク（県）＝子育てサポーター（国）



※ 委託グループは、実行委員会を設置して事業の実施をする。

- ① 計画書提出（様式1）
- ② 計画書取りまとめ・提出
- ③ 委託決定、委託契約
- ④ 実績報告書提出（様式2）
- ⑤ 実績報告書取りまとめ・提出

